

子供のキャリア観と 親の働く姿に関する調査 (小学校1年生-高校3年生 比較編)

株式会社アイデム

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10 アイデム本社ビル

お問い合わせ

広報担当 / 望月・栗木

調査担当 / 岸川・古橋

電話 03-5269-8780

kouhousitu@aidem.co.jp

調査概要

調査目的	親の働く姿と子供のキャリア観への影響について調査する		
調査対象	小学校1年生から高校3年生の子供を持つ男女で、子供と一緒にアンケート回答が可能な者		
調査方法	インターネット調査	調査期間	2018年6月14日～17日
有効回答	3,489名		
回答者内訳			

大人性別	小1-4		小5-6		中1-3		高1-3	
	n	%	n	%	n	%	n	%
男性	330	55.4	769	58.8	510	61.7	483	63.7
女性	266	44.6	539	41.2	317	38.3	275	36.3
計	596	100.0	1308	100.0	827	100.0	758	100.0

子供性別	小1-4		小5-6		中1-3		高1-3	
	n	%	n	%	n	%	n	%
男子	326	54.7	680	52.0	386	46.7	393	51.8
女子	270	45.3	628	48.0	441	53.3	365	48.2
計	596	100.0	1308	100.0	827	100.0	758	100.0

婚姻状況	小1-4		小5-6		中1-3		高1-3	
	n	%	n	%	n	%	n	%
既婚	566	95.0	1243	95.0	780	94.3	709	93.5
未婚・離別・死別	30	5.0	65	5.0	47	5.7	49	6.5
計	596	100.0	1308	100.0	827	100.0	758	100.0

就労状況	小1-4				小5-6				中1-3				高1-3			
	父親		母親		父親		母親		父親		母親		父親		母親	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
正社員／ 自営業・個人事業主	544	94.8	130	22.1	1193	94.8	259	20.0	756	94.3	173	21.5	673	92.8	156	21.0
非正規雇用	26	4.5	207	35.2	52	4.1	557	43.1	42	5.2	379	47.1	43	5.9	364	49.1
無職	4	0.7	251	42.7	14	1.1	476	36.8	4	0.5	253	31.4	9	1.2	222	29.9
計	574	100.0	588	100.0	1259	100.0	1292	100.0	802	100.0	805	100.0	725	100	742	100.0

父母の就労状況	小1-4		小5-6		中1-3		高1-3	
	n	%	n	%	n	%	n	%
共働き家庭 A (父母とも正社員または自営業)	113	19.0	224	17.1	149	18.0	126	16.6
共働き家庭 B (父母の1人以上が正社員・自営業以外の働き方)	198	33.2	529	40.4	374	45.2	352	46.4
専業主婦/夫 家庭 (父母のいずれかが無職)	255	42.8	490	37.5	257	31.1	231	30.5
シングル家庭 (父または母が雇用形態にかかわらず有業)	30	5.0	65	5.0	47	5.7	49	6.5
計	596	100.0	1308	100.0	827	100.0	758	100.0

留意事項

- 本調査における「子供調査」は、回答者（大人）による代理回答である。
回答者（大人）には、調査時に同席している子供に質問をし、その回答を聞いて記入するよう指示している。
- 調査票では、基本的に「父親」「母親」という表記をしていない。各設問においては「あなた（回答者本人）」「配偶者（回答者の配偶者）」の項目を設けて質問し、それぞれの回答を回答者の性別によって以下のように分類・再集計し、「父親」「母親」のデータを算出している。
なお、配偶者については既婚の回答者のみに聞いている。

父親： [A：男性回答者における「あなた」の項目の回答] と [D：女性回答者における「配偶者」の項目の回答] の合計
母親： [B：男性回答者における「配偶者」の項目の回答] と [C：女性回答者における「あなた」の項目の回答] の合計
- 本調査では、就労状況が「無職」の場合でも、家事・育児など「生活の中で担当しているもの」を行っていることを「働く」または「仕事」としている。
- 本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合がある。
- 「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示す。

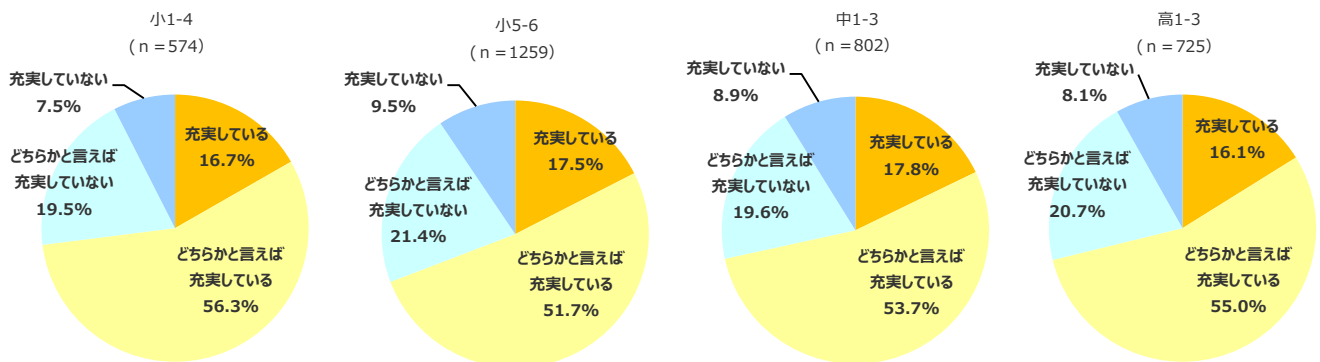
目次

	調査概要		p . 2
1	大人調査	親の仕事の充実度	p . 4
2	大人調査	就労している父親の労働時間	p . 5
3	大人調査	就労している母親の労働時間	p . 6
4	大人調査	親の年収	p . 7
5	大人調査	家族揃っての食事回数	p . 8
6	大人調査	子供との会話時間	p . 9
7	子供調査	父親の仕事を知っているか	p . 10
8	子供調査	母親の仕事を知っているか	p . 11
9	子供調査	親の働く姿を見たことがあるか	p . 12
10	子供調査	働く父親をどう思うか	p . 13
11	子供調査	働く母親をどう思うか	p . 14
12	子供調査	働く父親への憧れ	p . 15
13	子供調査	働く母親への憧れ	p . 16
14	子供調査	将来の夢はあるか	p . 17
15	大人調査	子供に将来なってほしい職業はあるか	p . 19
16	子供調査	将来なりたい職業	p . 20
17	大人調査	子供に将来なってほしい職業	p . 20
18	子供調査	将来その職業になりたい理由	p . 22
19	子供調査	将来なりたい職業に就くための努力	p . 23
20	子供調査	将来働くのは楽しみか	p . 24

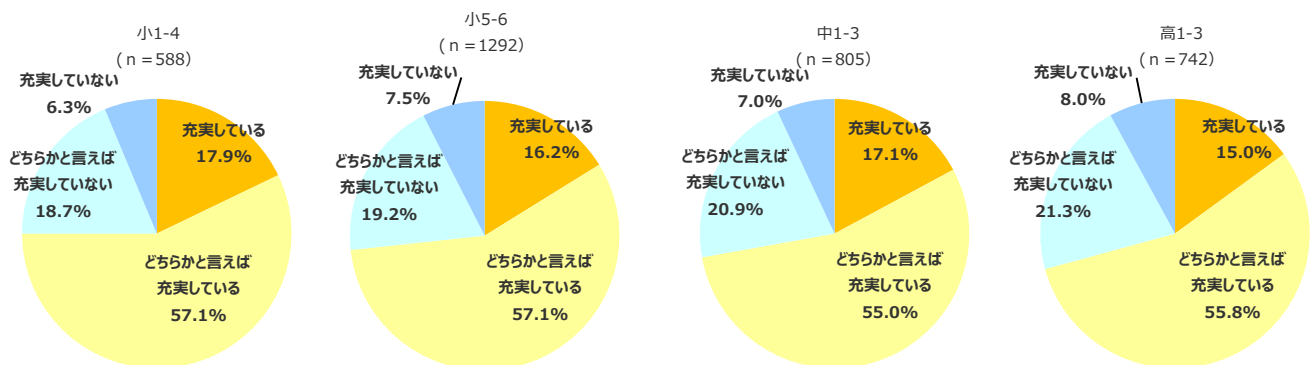
親の仕事の充実度

小学校1年生から高校3年生の子供がいる家庭に、父親および母親の仕事の充実度を聞いた。
どの学年の子供を持つ家庭でも、「充実している」+「どちらかと言えば充実している」が合わせて70%前後に上っている（図1.1、図1.2）。

【図1.1】父親の仕事の充実度



【図1.2】母親の仕事の充実度

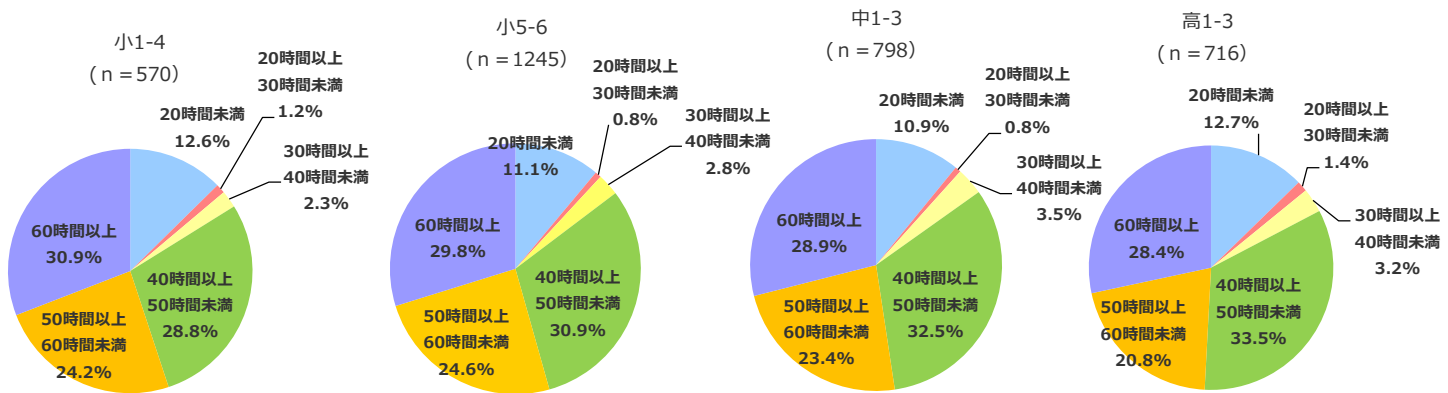


就労している父親の労働時間

小学校1年生から高校3年生の子供がいる家庭で、就労している父親の1週間の労働時間（通勤時間や持ち帰り仕事、仕事の準備に使う時間も含む）を聞くと、結果は、「40時間以上50時間未満」「60時間以上」がそれぞれ3割を占めていた（図2）。

就労状況別に見ると、「非正規雇用」では「20時間未満」「20時間以上30時間未満」の割合が高くなっている（表2）。

【図2】 就労している父親の1週間の労働時間



【表2】 就労している父親の1週間の労働時間：就労状況別

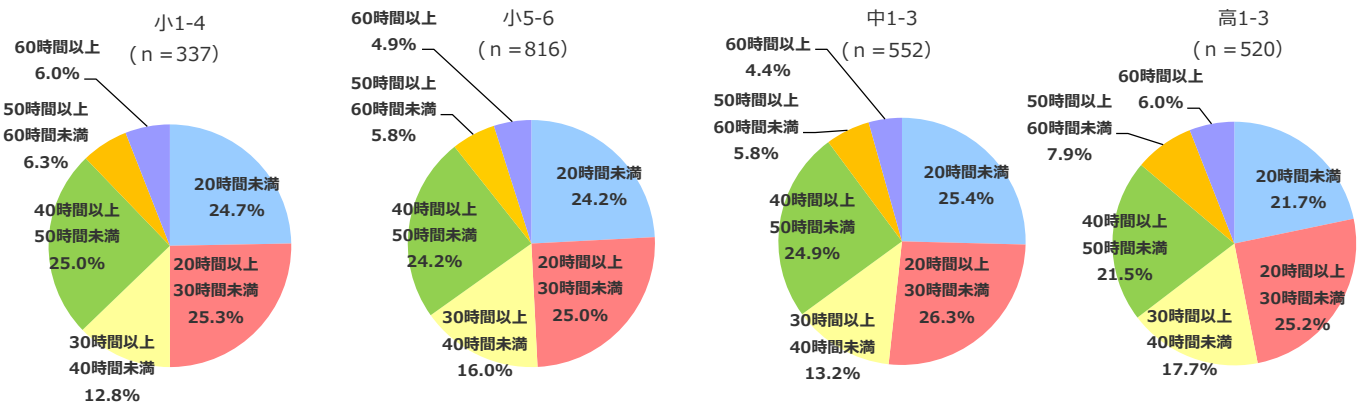
	n	平均（時間）	労働時間区分 (%)						
			20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上40時間未満	40時間以上50時間未満	50時間以上60時間未満	60時間以上	
小1-4	全体	570	48.9	12.6	1.2	2.3	28.8	24.2	30.9
	正社員／自営業・個人事業主	544	49.4	12.3	0.9	2.0	28.9	24.1	31.8
	非正規雇用	26	38.6	19.2	7.7	7.7	26.9	26.9	11.5
小5-6	全体	1245	49.2	11.1	0.8	2.8	30.9	24.6	29.8
	正社員／自営業・個人事業主	1193	49.3	10.9	0.7	2.3	31.0	24.8	30.3
	非正規雇用	52	45.1	15.4	3.8	13.5	28.8	19.2	19.2
中1-3	全体	798	48.4	10.9	0.8	3.5	32.5	23.4	28.9
	正社員／自営業・個人事業主	756	48.9	10.4	0.4	3.6	32.1	23.7	29.8
	非正規雇用	42	40.1	19.0	7.1	2.4	38.1	19.0	14.3
高1-3	全体	716	47.7	12.7	1.4	3.2	33.5	20.8	28.4
	正社員／自営業・個人事業主	673	47.8	12.9	1.2	3.1	32.2	21.4	29.1
	非正規雇用	43	45.6	9.3	4.7	4.7	53.5	11.6	16.3

就労している母親の労働時間

小学校1年生から高校3年生の子供がいる家庭で、就労している母親の1週間の労働時間（通勤時間や持ち帰り仕事、仕事の準備に使う時間も含む）を聞くと、結果は、「20時間未満」「20時間以上30時間未満」「40時間以上50時間未満」がそれぞれ25%前後を占めていた（図3）。

就労状況別に見ると、「非正規雇用」では「20時間未満」「20時間以上30時間未満」の割合が高く、合わせて6〜7割に上る。一方、「正社員／自営業・個人事業主」の約半数は「40時間以上50時間未満」と回答していた（表3）。

【図3】 就労している母親の1週間の労働時間



【表3】 就労している母親の1週間の労働時間：就労状況別

	n数	平均（時間）	労働時間区分 (%)					
			20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上40時間未満	40時間以上50時間未満	50時間以上60時間未満	60時間以上
小1-4	337	30.1	24.7	25.3	12.8	25.0	6.3	6.0
正社員／自営業・個人事業主	130	40.9	8.5	6.2	11.5	48.5	11.5	13.8
非正規雇用	207	23.3	35.0	37.4	13.6	10.2	2.9	1.0
小5-6	816	29.7	24.2	25.0	16.0	24.2	5.8	4.9
正社員／自営業・個人事業主	259	38.4	16.2	3.1	8.5	47.9	14.3	10.0
非正規雇用	556	25.7	27.9	35.3	19.4	13.1	1.8	2.5
中1-3	552	30.0	25.4	26.3	13.2	24.9	5.8	4.4
正社員／自営業・個人事業主	173	41.9	9.8	4.6	8.7	53.2	13.9	9.8
非正規雇用	379	24.5	32.5	36.2	15.3	11.9	2.1	1.9
高1-3	520	31.1	21.7	25.2	17.7	21.5	7.9	6.0
正社員／自営業・個人事業主	156	40.9	12.2	6.4	9.0	40.4	19.2	12.8
非正規雇用	364	26.9	25.8	33.2	21.4	13.5	3.0	3.0

親の年収

小学校1年生から高校3年生の子供がいる家庭で、就労している父親および母親の1年間の収入を聞いた。

父親の年収は、全体では「高1-3」を除いて「400万円以上600万円未満」が3割前後と高くなっている。就労状況別に見ると、「非正規雇用」の場合は「400万円未満」が5～7割を占めている（表4.1）。

母親の年収は、「非正規雇用」では「103万円以下」が5～6割を占めていた。「103万円超150万円未満」も含めると、8割前後が150万円未満の年収となっている。一方、「正社員/自営業・個人事業主」は、「高1-3」を除き「150万円以上400万円未満」が4～5割を占め、最も割合が高くなっていた。また、「400万円以上」も約4割に上っている（表4.2）。

【表4.1】就労している父親の年収：就労状況別

		n 数	4 0 0 万 円 未 満	6 4 0 0 0 0 万 万 円 円 未 以 満 上	8 6 0 0 0 0 万 万 円 円 未 以 満 上	8 0 0 万 円 以 上
		(%)				
小1-4	全体	570	24.2	32.5	20.5	22.8
	正社員/ 自営業・個人事業主	544	22.8	33.5	21.0	22.8
	非正規雇用	26	53.8	11.5	11.5	23.1
小5-6	全体	1245	23.4	31.5	23.1	22.1
	正社員/ 自営業・個人事業主	1193	21.5	32.2	23.8	22.5
	非正規雇用	52	67.3	15.4	5.8	11.5
中1-3	全体	798	20.7	33.3	22.3	23.7
	正社員/ 自営業・個人事業主	756	18.7	34.0	22.9	24.5
	非正規雇用	42	57.1	21.4	11.9	9.5
高1-3	全体	716	23.7	25.3	22.3	28.6
	正社員/ 自営業・個人事業主	673	21.5	26.0	22.9	29.6
	非正規雇用	43	58.1	14.0	14.0	14.0

【表4.2】就労している母親の年収：就労状況別

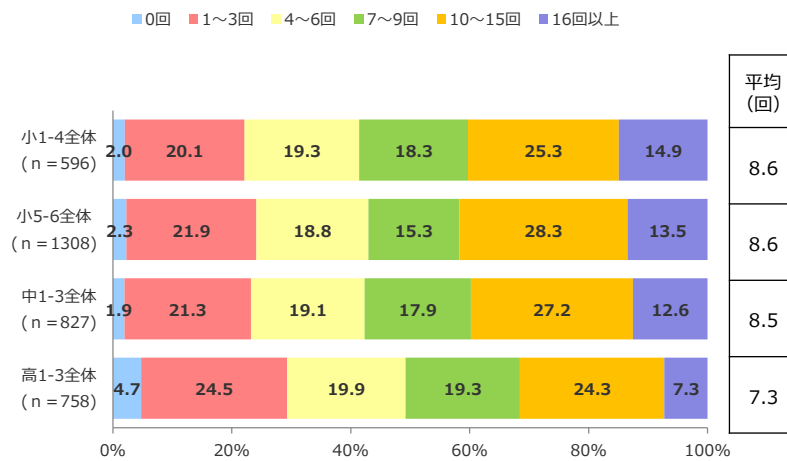
		n 数	1 0 3 万 円 以 下	1 1 5 0 0 3 万 万 円 円 未 超 満	4 1 0 5 0 0 万 万 円 円 未 以 満 上	4 0 0 万 円 以 上
		(%)				
小1-4	全体	337	43.6	14.2	24.9	17.2
	正社員/ 自営業・個人事業主	130	10.0	5.4	49.2	35.4
	非正規雇用	207	64.7	19.8	9.7	5.8
小5-6	全体	816	43.8	17.8	24.1	14.3
	正社員/ 自営業・個人事業主	259	10.0	6.2	44.0	39.8
	非正規雇用	557	59.4	23.2	14.9	2.5
中1-3	全体	552	43.5	18.7	23.4	14.5
	正社員/ 自営業・個人事業主	173	6.9	6.4	48.6	38.2
	非正規雇用	379	60.2	24.3	11.9	3.7
高1-3	全体	520	39.2	21.7	24.2	14.8
	正社員/ 自営業・個人事業主	156	8.3	9.0	39.1	43.6
	非正規雇用	364	52.5	27.2	17.9	2.5

家族揃っての食事回数

小学校1年生から高校3年生の子供がいる男女に、家族（※）が揃って食事をする機会は週何回くらいあるか聞いた。学年が上がるにつれ、「16回以上」の割合が下がっていく。それぞれ平均は「小1-4」8.6回、「小5-6」8.6回、「中1-3」8.5回、「高1-3」7.3回となっており、平均すると1日1~2回程度の家庭が多いようだ（図5）。

※自身と配偶者と子供（複数いる場合は1人以上同席していればカウント可）

【図5】 家族揃っての食事回数



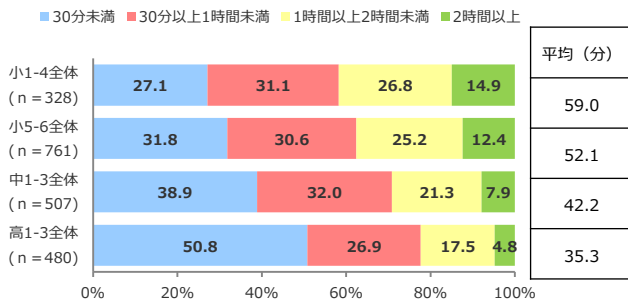
子供との会話時間

小学校1年生から高校3年生の子供がいる男女に、子供との会話時間（1日平均）※を聞いた。
 ※就労者は「労働日（働いている日）の平均」と「休日の平均」について、
 無職者は「毎日の平均」について聞いている。

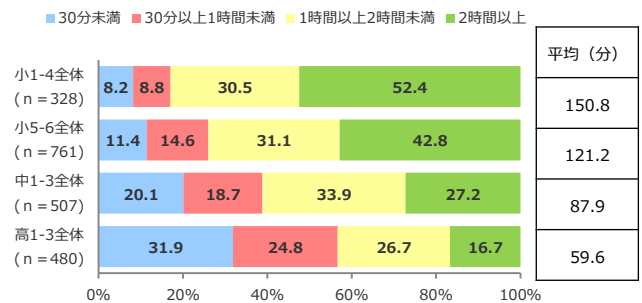
就労している男性（＝父親）の場合、労働日でも休日でも子供の学年が上がるにつれて、会話時間も短くなっていく。「高1-3」の子供を持つ男性にいたっては、「30分未満」が50.8%と半数に上っている。
 一方、どの学年の子供を持つ男性でも、労働日より休日の方が平均会話時間が長くなっていった（図6.1、図6.2）。

女性（＝母親）は、就労者でも無職者でも、男性と同様に子供の学年が上がるにつれ会話時間は短くなっていく傾向があるが、会話時間そのものは男性の平均よりも長い。また、就労者は、労働日こそ無職者よりも会話時間が少ない傾向があるが、休日の会話時間は無職者を上っており、労働日の会話の少なさを休日に取り返そうとしているかのように見える（図6.3、図6.4、図6.5）。

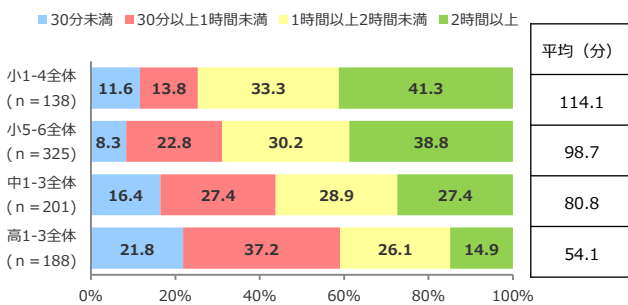
【図6.1】男性就労者／労働日の子供との会話時間



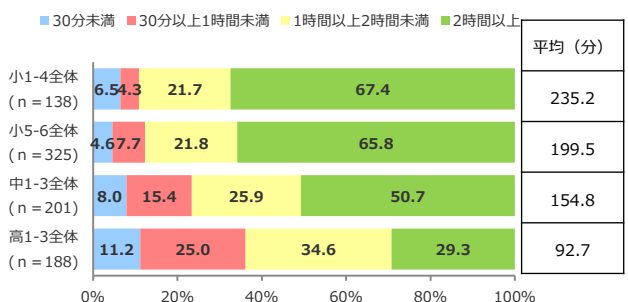
【図6.2】男性就労者／休日の子供との会話時間



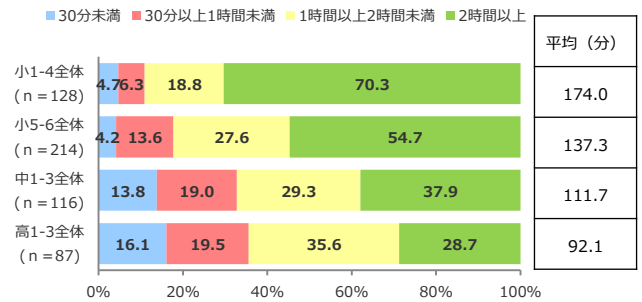
【図6.3】女性就労者／労働日の子供との会話時間



【図6.4】女性就労者／休日の子供との会話時間



【図6.5】女性無職者／毎日の子供との会話時間

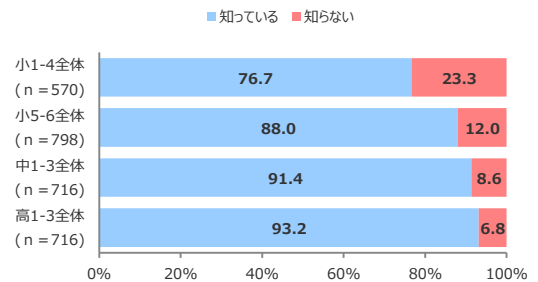


父親の仕事を知っているか

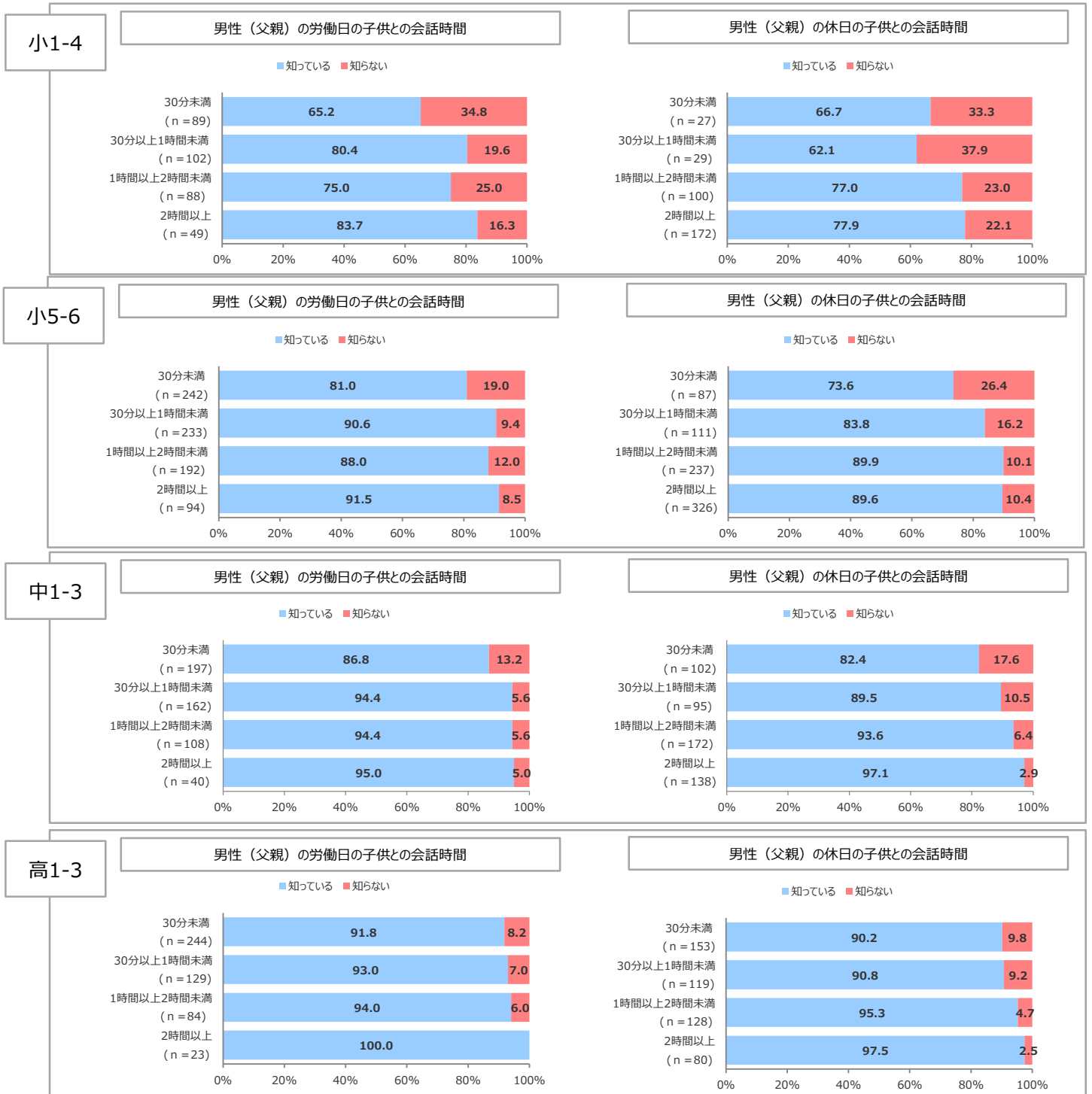
【図7.1】父親の仕事を知っているか（父親が無職者の場合を除く）

小学校1年生から高校3年生までの子供に、父親がどのような仕事をしているか知っているか聞いた（父親が無職者の場合を除く）。学年が上がるほど「知っている」の割合が増えており、成長するにつれて仕事や労働についての理解・認識が進んでいることがうかがえる（図7.1）。

「大人調査：子供との会話時間」との関係を見ると、概ね子供との会話時間が長い男性の子供ほど、父親の仕事を知らない割合が減っていく傾向があった（図7.2）。



【図7.2】父親の仕事を知っているか：男性就労者の子供との会話時間

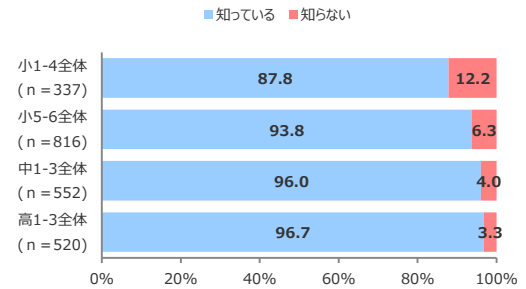


母親の仕事を知っているか

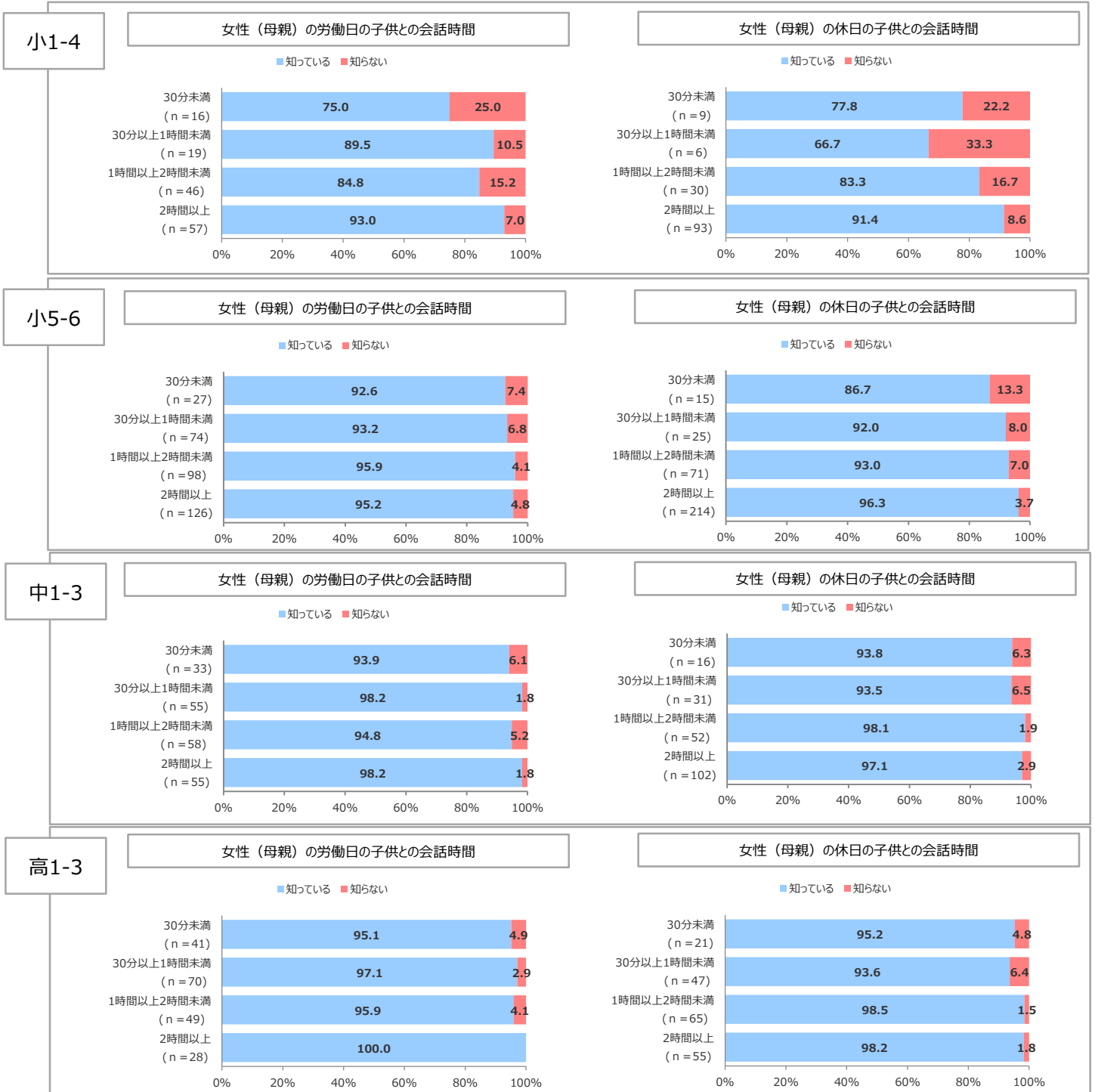
小学校1年生から高校3年生までの子供に、母親がどのような仕事をしているか知っているか聞いた（母親が無職者の場合を除く）。父親と同様に、学年が上がるほど「知っている」の割合は増える。また、父親よりも「知っている」の回答割合は高い傾向にある（図8.1）。

「大人調査：子供との会話時間」との関係を見ると、小学生は概ね子供との会話時間が長い女性の子供ほど「知らない」という回答が減っていく傾向があったが、中学生以上になると、あまり差は見られなくなっていた（図8.2）。

【図8.1】母親の仕事を知っているか（母親が無職者の場合を除く）



【図8.2】母親の仕事を知っているか：女性就労者の子供との会話時間



親の働く姿を見たことがあるか

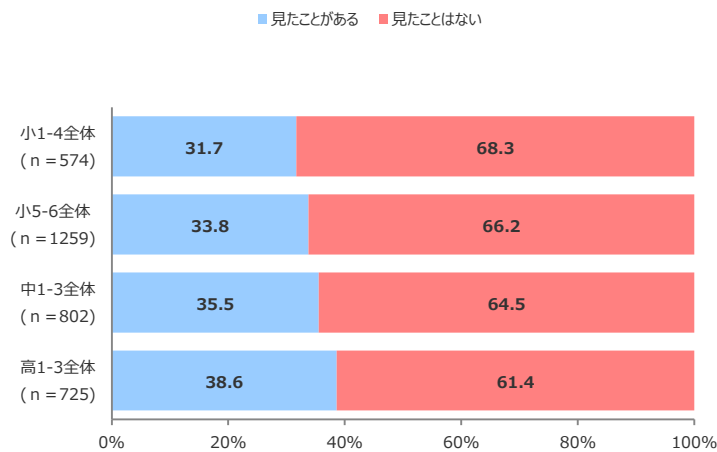
小学校1年生から高校3年生の子供に、父親および母親の働く姿を見たことがあるかを聞いた。

父親に関しては、「見たことがある」という回答は「小1-4」で31.7%で、学年が上がるにつれて増加していく傾向があった。「高1-3」では38.6%にまで伸びている（図9.1）。

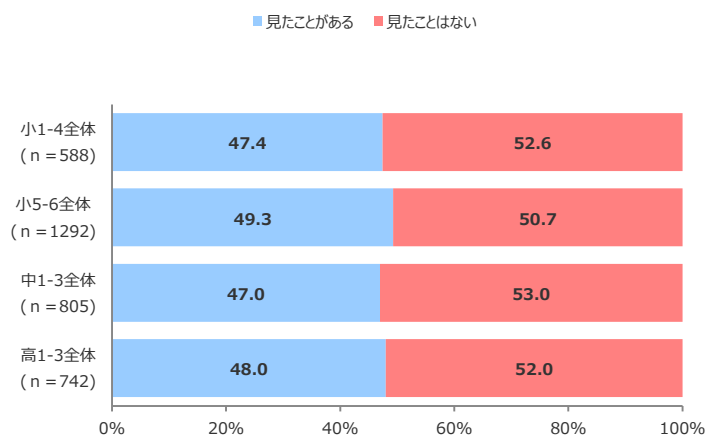
母親に関しては、学年が上がっても変化は見られず、どの学年の子供でも5割弱となっている。父親よりも「見たことがある」の回答割合は全体的に高い（図9.2）。

父親および母親の働く姿を「知っている」子供は8~9割に上ったが、その働く姿を実際に「見たことがある」子供は多くはないことがうかがえる。

【図9.1】 父親の働く姿を見たことがあるか



【図9.2】 母親の働く姿を見たことがあるか



働く父親をどう思うか

小学校1年生から高校3年生の子供に、働く父親を見てどう思うかを聞いた。

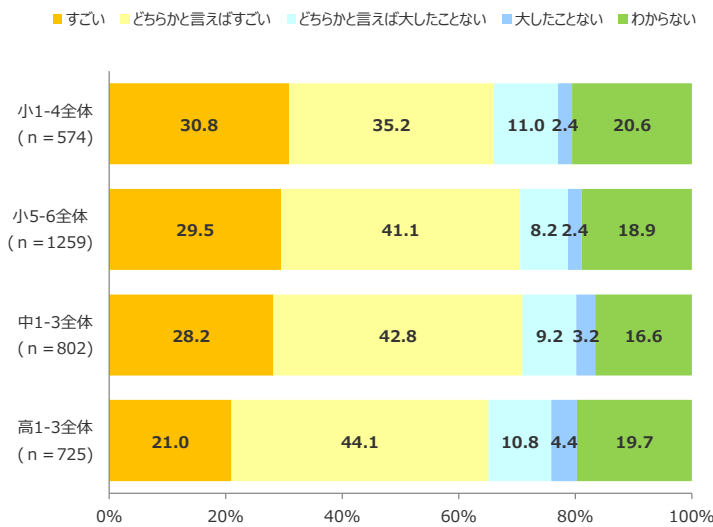
「すごい」という回答は、学年が上がるにつれ低くなっていく。「どちらかと言えばすごい」と合わせた数値は、「高1-3」が最も低くなっており、父親への反発心もあるのかもしれない（図10）。

「大人調査：親の仕事の充実度」との関係を見ると、父親の仕事が「充実していない」家庭の子供は、「すごい」と感じる割合が低く、「わからない」の回答割合が高い傾向にあった（表10.1）。

就労状況別に見ると、「すごい」「どちらかと言えばすごい」と合計値は「正社員／自営業・個人事業主」が高い傾向にあった（表10.2）。

年収別（就労者のみ）に見ると、父親の年収が高くなるほど「すごい」と感じる割合も高くなっていった（表10.3）。

【図10】働いている父親を「すごい」と思うか



【表10.1】働いている父親を「すごい」と思うか：父親の仕事の充実度別

	n数	父親の仕事の充実度別 (%)					
		すごい	どちらかと言えばすごい	どちらかと言えば大したことない	大したことない	わからない	
小1-4	充実している	419	35.3	37.7	8.8	1.4	16.7
	充実していない	155	18.7	28.4	16.8	5.2	31.0
小5-6	充実している	871	35.1	41.8	7.0	1.7	14.4
	充実していない	388	16.8	39.4	10.8	3.9	29.1
中1-3	充実している	574	32.6	44.4	8.0	1.7	13.2
	充実していない	228	17.1	38.6	12.3	7.0	25.0
高1-3	充実している	516	26.4	48.1	8.7	2.1	14.7
	充実していない	209	7.7	34.4	15.8	10.0	32.1

【表10.2】働いている父親を「すごい」と思うか：父親の就労状況別

	n数	父親の就労状況別 (%)					
		すごい	どちらかと言えばすごい	どちらかと言えば大したことない	大したことない	わからない	
小1-4	正社員／自営業・個人事業主	544	31.3	35.5	10.8	2.2	20.2
	非正規雇用	26	26.9	34.6	11.5	3.8	23.1
	無職	4	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0
小5-6	正社員／自営業・個人事業主	1193	29.9	41.4	7.7	2.1	18.9
	非正規雇用	52	23.1	40.4	9.6	7.7	19.2
	無職	14	14.3	14.3	42.9	7.1	21.4
中1-3	正社員／自営業・個人事業主	756	28.2	42.7	9.4	3.0	16.7
	非正規雇用	42	31.0	45.2	7.1	4.8	11.9
	無職	4	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
高1-3	正社員／自営業・個人事業主	673	20.7	44.7	10.7	4.8	19.2
	非正規雇用	43	27.9	37.2	11.6	0.0	23.3
	無職	9	11.1	33.3	11.1	0.0	44.4

【表10.3】働いている父親を「すごい」と思うか：父親の年収別

	n数	父親の年収別 (%)					
		すごい	どちらかと言えばすごい	どちらかと言えば大したことない	大したことない	わからない	
小1-4	400万円未満	138	24.6	34.1	16.7	2.2	22.5
	400万円以上600万円未満	185	28.1	33.5	10.8	2.7	24.9
	600万円以上800万円未満	117	37.6	35.0	7.7	2.6	17.1
	800万円以上	130	36.2	40.0	7.7	1.5	14.6
小5-6	400万円未満	291	20.3	41.9	10.0	3.4	24.4
	400万円以上600万円未満	392	27.8	42.9	6.9	1.8	20.7
	600万円以上800万円未満	287	33.4	39.0	8.0	2.8	16.7
	800万円以上	275	38.2	41.1	6.5	1.5	12.7
中1-3	400万円未満	165	23.6	45.5	11.5	3.6	15.8
	400万円以上600万円未満	266	26.7	41.4	9.0	3.8	19.2
	600万円以上800万円未満	178	28.1	43.8	7.9	3.9	16.3
	800万円以上	189	34.9	41.8	9.0	1.1	13.2
高1-3	400万円未満	170	15.9	44.1	13.5	4.7	21.8
	400万円以上600万円未満	181	14.4	48.6	8.8	8.3	19.9
	600万円以上800万円未満	160	21.9	40.6	11.9	5.0	20.6
	800万円以上	205	30.7	43.4	9.3	0.5	16.1

働く母親をどう思うか

小学校1年生から高校3年生の子供に、働く母親を見てどう思うかを聞いた。

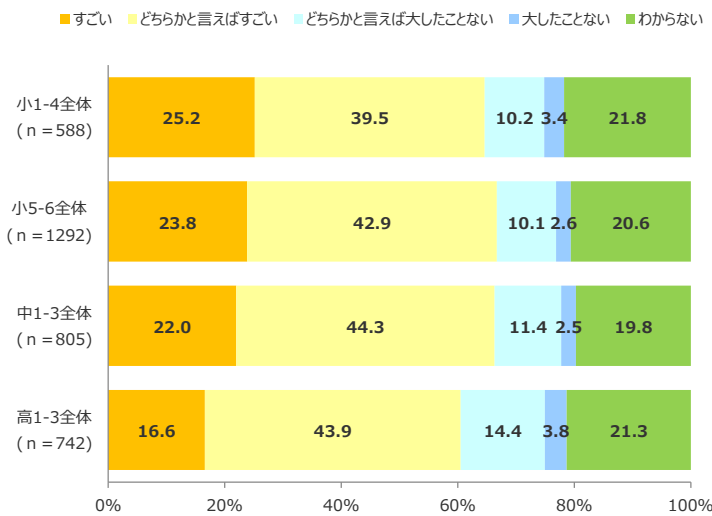
「すごい」という回答は、父親と同様、学年が上がるにつれ低くなっていく。また、回答割合は父親よりも全体的に低い(図11)。

「大人調査：親の仕事の充実度」との関係を見ると、母親の仕事が「充実していない」家庭の子供は、「すごい」と感じる割合も低く、「わからない」の回答割合は高くなっていった(表11.1)。

就労状況別に見ると、「すごい」「どちらかと言えばすごい」と合計値は「正社員/自営業・個人事業主」が高い傾向にあった(表11.2)。

年収別(就労者のみ)に見ると、「400万円以上」の場合は「すごい」の回答割合が他の年収帯よりも高い傾向にあった(表11.3)。

【図11】働いている母親を「すごい」と思うか



【表11.1】働いている母親を「すごい」と思うか：母親の仕事の充実度別

学年	n数	すごい	すごい どちらか かと言 ええ ば	大し ち ら か と な い え ば	大 し た こ と な い	わ か ら な い	
							(%)
小1-4	充実している	441	28.1	40.8	9.3	2.3	19.5
	充実していない	147	16.3	35.4	12.9	6.8	28.6
小5-6	充実している	947	25.7	45.7	8.7	1.6	18.4
	充実していない	345	18.8	35.1	14.2	5.2	26.7
中1-3	充実している	581	24.4	48.0	9.3	1.5	16.7
	充実していない	224	15.6	34.8	17.0	4.9	27.7
高1-3	充実している	525	20.2	50.9	9.5	2.7	16.8
	充実していない	217	7.8	27.2	26.3	6.5	32.3

【表11.2】働いている母親を「すごい」と思うか：母親の就労状況別

学年	n数	すごい	すごい どちら かと言 ええ ば	大し ち ら か と な い え ば	大 し た こ と な い	わ か ら な い	
							(%)
小1-4	正社員/自営業・個人事業主	130	22.3	43.1	15.4	4.6	14.6
	非正規雇用	207	24.6	42.5	9.7	3.9	19.3
	無職	251	27.1	35.1	8.0	2.4	27.5
小5-6	正社員/自営業・個人事業主	259	28.6	46.7	8.1	2.3	14.3
	非正規雇用	557	22.6	43.4	12.0	2.0	19.9
	無職	476	22.7	40.1	9.0	3.4	24.8
中1-3	正社員/自営業・個人事業主	173	26.0	45.1	9.8	1.2	17.9
	非正規雇用	379	22.2	48.5	11.3	3.7	14.2
	無職	253	19.0	37.5	12.6	1.6	29.2
高1-3	正社員/自営業・個人事業主	156	21.2	47.4	12.8	2.6	16.0
	非正規雇用	364	15.7	46.2	15.1	4.4	18.7
	無職	222	14.9	37.8	14.4	3.6	29.3

【表11.3】働いている母親を「すごい」と思うか：母親の年収別

学年	n数	すごい	すごい どちら かと言 ええ ば	大し ち ら か と な い え ば	大 し た こ と な い	わ か ら な い	
							(%)
小1-4	103万円以下	147	21.1	45.6	8.8	4.8	19.7
	103万円超150万円未満	48	18.8	43.8	14.6	6.3	16.7
	150万円以上400万円未満	84	25.0	41.7	14.3	2.4	16.7
	400万円以上	58	32.8	36.2	13.8	3.4	13.8
小5-6	103万円以下	357	22.7	44.0	12.6	2.2	18.5
	103万円超150万円未満	145	22.1	43.4	12.4	0.0	22.1
	150万円以上400万円未満	197	28.9	45.2	8.1	1.5	16.2
	400万円以上	117	25.6	46.2	7.7	5.1	15.4
中1-3	103万円以下	240	21.7	46.7	11.3	4.2	16.3
	103万円超150万円未満	103	21.4	56.3	8.7	1.9	11.7
	150万円以上400万円未満	129	21.7	45.0	14.0	2.3	17.1
	400万円以上	80	33.8	42.5	7.5	1.3	15.0
高1-3	103万円以下	204	12.7	47.5	15.7	4.9	19.1
	103万円超150万円未満	113	15.0	48.7	14.2	5.3	16.8
	150万円以上400万円未満	126	20.6	42.9	14.3	2.4	19.8
	400万円以上	77	27.3	46.8	11.7	1.3	13.0

働く父親への憧れ

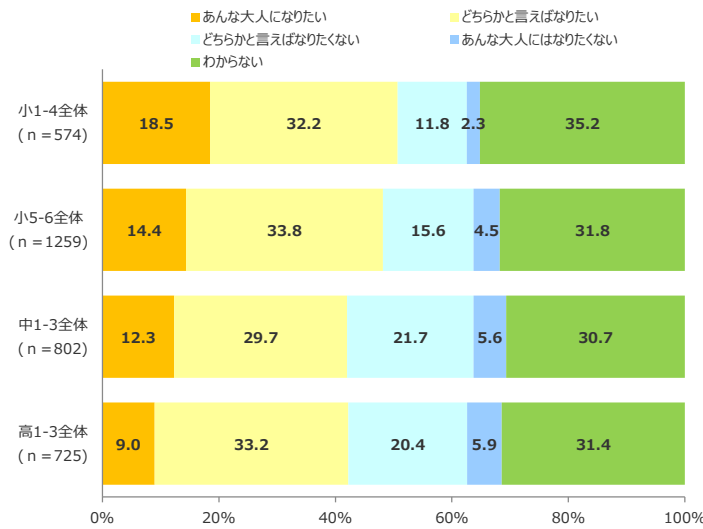
小学校1年生から高校3年生の子供に、働く父親を見てどのように感じているかを聞いた。

父親に関して、「あんな大人になりたい」という回答は、「小1-4」で18.5%あったものの、「高1-3」では半分以下の9.0%に落ち込み、学年が上がるにつれ低くなっていく。小学生と中学生を境に、反抗期ならではの心理の表れか、「なりたくない」「どちらかと言えばなりたくない」の合計値が高くなっている（図12）。

「大人調査：親の仕事の充実度」との関係を見ると、父親の仕事が「充実していない」家庭の子供は、「充実している」家庭の子供よりも「あんな大人になりたい」「どちらかと言えばなりたくない」と感じる割合が低く、「わからない」の回答割合が高い傾向にあった（表12.1）。

年収別（就労者のみ）に見ると、年収が高くなるのに比例して「あんな大人になりたい」「どちらかと言えばなりたくない」の回答割合が高まっていく傾向があった（表12.3）。

【図12】働く父親への憧れ



【表12.1】働く父親への憧れ：父親の仕事の充実度別

	n数	憧れの感じ方 (%)					
		あんな大人に	どちらかと言えば	どちらかとも言えない	あんな大人には	わからない	
小1-4	充実している	419	22.7	34.8	8.8	1.9	31.7
	充実していない	155	7.1	25.2	20.0	3.2	44.5
小5-6	充実している	871	18.8	39.5	12.5	2.9	26.3
	充実していない	388	4.4	20.9	22.4	8.2	44.1
中1-3	充実している	574	15.9	33.8	18.1	4.0	28.2
	充実していない	228	3.5	19.3	30.7	9.6	36.8
高1-3	充実している	516	12.2	40.1	14.9	3.1	29.7
	充実していない	209	1.0	16.3	34.0	12.9	35.9

【表12.2】働く父親への憧れ：父親の就労状況別

	n数	憧れの感じ方 (%)					
		あんな大人に	どちらかと言えば	どちらかとも言えない	あんな大人には	わからない	
小1-4	正社員/自営業・個人事業主	544	18.0	32.9	12.1	2.0	34.9
	非正規雇用	26	26.9	23.1	7.7	7.7	34.6
	無職	4	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
小5-6	正社員/自営業・個人事業主	1193	14.6	34.1	15.6	4.4	31.3
	非正規雇用	52	13.5	28.8	5.8	5.8	46.2
	無職	14	0.0	21.4	50.0	7.1	21.4
中1-3	正社員/自営業・個人事業主	756	12.0	30.2	21.4	5.7	30.7
	非正規雇用	42	19.0	23.8	28.6	2.4	26.2
	無職	4	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0
高1-3	正社員/自営業・個人事業主	673	8.3	33.1	21.4	5.8	31.4
	非正規雇用	43	20.9	32.6	7.0	9.3	30.2
	無職	9	0.0	44.4	11.1	0.0	44.4

【表12.3】働く父親への憧れ：父親の年収別

	n数	憧れの感じ方 (%)					
		あんな大人に	どちらかと言えば	どちらかとも言えない	あんな大人には	わからない	
小1-4	400万円未満	138	14.5	26.8	18.8	2.2	37.7
	400万円以上600万円未満	185	14.6	31.4	13.0	3.2	37.8
	600万円以上800万円未満	117	20.5	36.8	8.5	1.7	32.5
	800万円以上	130	26.2	36.2	6.2	1.5	30.0
小5-6	400万円未満	291	9.6	27.5	20.6	4.5	37.8
	400万円以上600万円未満	392	12.2	35.7	14.3	4.6	33.2
	600万円以上800万円未満	287	16.0	33.4	16.0	5.2	29.3
	800万円以上	275	21.5	38.5	9.8	3.6	26.5
中1-3	400万円未満	165	6.7	28.5	26.7	7.3	30.9
	400万円以上600万円未満	266	10.5	24.4	25.2	4.9	35.0
	600万円以上800万円未満	178	14.6	30.3	20.8	5.6	28.7
	800万円以上	189	18.0	38.1	13.8	4.8	25.4
高1-3	400万円未満	170	10.6	24.7	24.1	8.2	32.4
	400万円以上600万円未満	181	7.2	27.1	26.5	5.5	33.7
	600万円以上800万円未満	160	8.1	33.1	19.4	8.8	30.6
	800万円以上	205	10.2	45.4	13.2	2.4	28.8

働く母親への憧れ

小学校1年生から高校3年生の子供に、働く母親を見てどのように感じているかを聞いた。

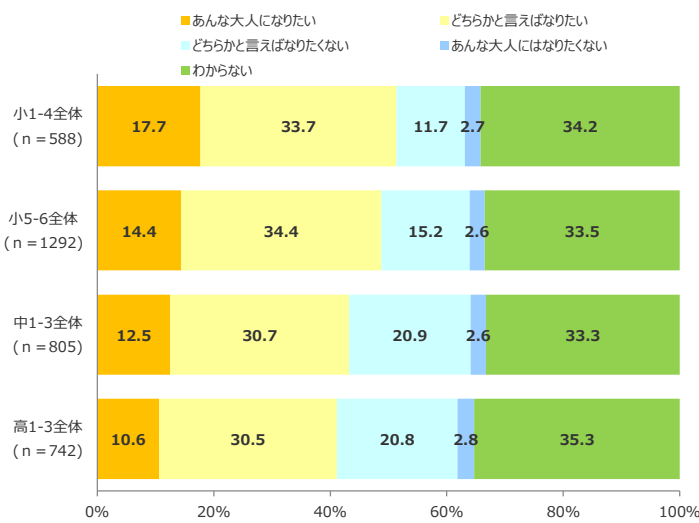
母親に関して、「あんな大人になりたい」という回答は、「小1-4」で17.7%あったものの、「高1-3」では10.6%に落ち込んでいく。父親と同様に、学年が上がるにつれ低くなっていった（図.13）。

「大人調査：親の仕事の充実度」との関係を見ると、母親の仕事が「充実していない」家庭の子供は、「充実している」家庭の子供よりも「あんな大人になりたい」「どちらかと言えばなりたいたい」と感じる割合が低く、「わからない」の回答割合が高い傾向にあった（表13.1）。

就労状況別に見ると、「正社員/自営業・個人事業主」の場合は「わからない」の回答割合が他よりも低くなっていた（表13.2）。

年収別（就労者のみ）に見ると、父親と同様に、年収とが高くなるにつれて「あんな大人になりたい」「どちらかと言えばなりたいたい」の回答割合も高まっていく傾向があった（表13.3）。

【図13】働く母親への憧れ



【表13.1】働く母親への憧れ：母親の仕事の充実度別

	n数	憧れの程度 (%)					
		あんな大人に	どちらかと言えば	どちらかとも言えない	あんな大人には	わからない	
小1-4	充実している	441	21.3	36.3	8.4	1.6	32.4
	充実していない	147	6.8	25.9	21.8	6.1	39.5
小5-6	充実している	947	17.1	38.6	12.5	1.4	30.4
	充実していない	345	7.0	22.6	22.6	5.8	42.0
中1-3	充実している	581	15.7	34.6	18.8	1.0	29.9
	充実していない	224	4.5	20.5	26.3	6.7	42.0
高1-3	充実している	525	14.3	36.2	17.5	1.5	30.5
	充実していない	217	1.8	16.6	28.6	6.0	47.0

【表13.2】働く母親への憧れ：母親の就労状況別

	n数	憧れの程度 (%)					
		あんな大人に	どちらかと言えば	どちらかとも言えない	あんな大人には	わからない	
小1-4	正社員/自営業・個人事業主	130	16.9	39.2	13.8	3.1	26.9
	非正規雇用	207	17.9	30.9	9.2	2.9	39.1
	無職	251	17.9	33.1	12.7	2.4	33.9
小5-6	正社員/自営業・個人事業主	259	14.3	41.3	16.2	1.2	27.0
	非正規雇用	557	14.4	32.5	17.4	2.3	33.4
中1-3	正社員/自営業・個人事業主	173	13.3	34.1	22.5	2.3	27.7
	非正規雇用	379	11.3	33.0	21.9	3.2	30.6
	無職	253	13.8	24.9	18.2	2.0	41.1
高1-3	正社員/自営業・個人事業主	156	14.1	38.5	17.3	2.6	27.6
	非正規雇用	364	10.4	27.2	25.5	2.2	34.6
	無職	222	8.6	30.2	15.3	4.1	41.9

【表13.3】働く母親への憧れ：母親の年収別

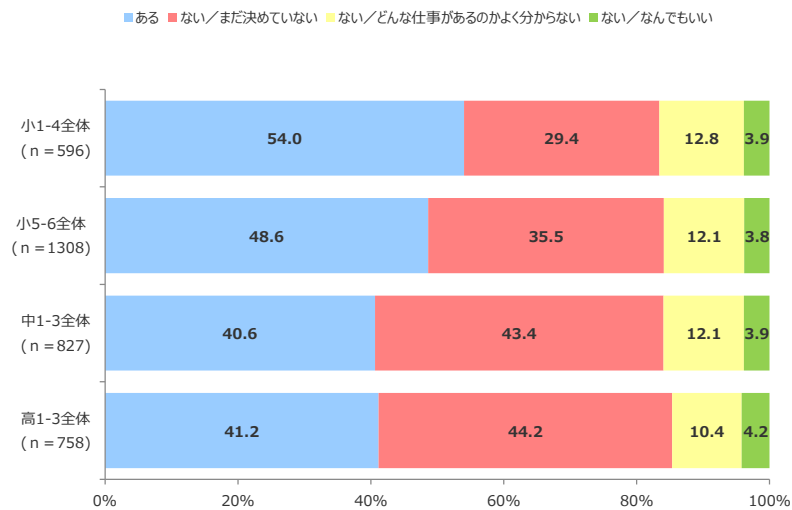
	n数	憧れの程度 (%)					
		あんな大人に	どちらかと言えば	どちらかとも言えない	あんな大人には	わからない	
小1-4	103万円以下	147	19.0	28.6	8.8	2.7	40.8
	103万円超150万円未満	48	18.8	33.3	18.8	2.1	27.1
	150万円以上400万円未満	84	13.1	39.3	13.1	2.4	32.1
	400万円以上	58	19.0	41.4	6.9	5.2	27.6
小5-6	103万円以下	357	14.8	33.9	16.8	2.5	31.9
	103万円超150万円未満	145	11.7	33.1	16.6	0.7	37.9
	150万円以上400万円未満	197	15.2	35.5	17.8	2.5	28.9
	400万円以上	117	14.5	41.9	17.1	0.9	25.6
中1-3	103万円以下	240	11.7	34.6	19.2	2.9	31.7
	103万円超150万円未満	103	9.7	30.1	31.1	1.0	28.2
	150万円以上400万円未満	129	10.9	35.7	20.9	6.2	26.4
	400万円以上	80	17.5	30.0	21.3	0.0	31.3
高1-3	103万円以下	204	9.3	30.9	26.0	1.5	32.4
	103万円超150万円未満	113	10.6	23.0	24.8	2.7	38.9
	150万円以上400万円未満	126	11.9	31.0	20.6	4.0	32.5
	400万円以上	77	18.2	40.3	16.9	1.3	23.4

将来の夢はあるか

小学校1年生から高校3年生の子供に将来なりたい職業があるかを聞いた。

「ある」と回答した子供は「小1-4」54.0%、「小5-6」48.6%、「中1-3」40.6%、「高1-3」41.2%となり、学年が上がるにつれて割合が下がっていく（図14）。

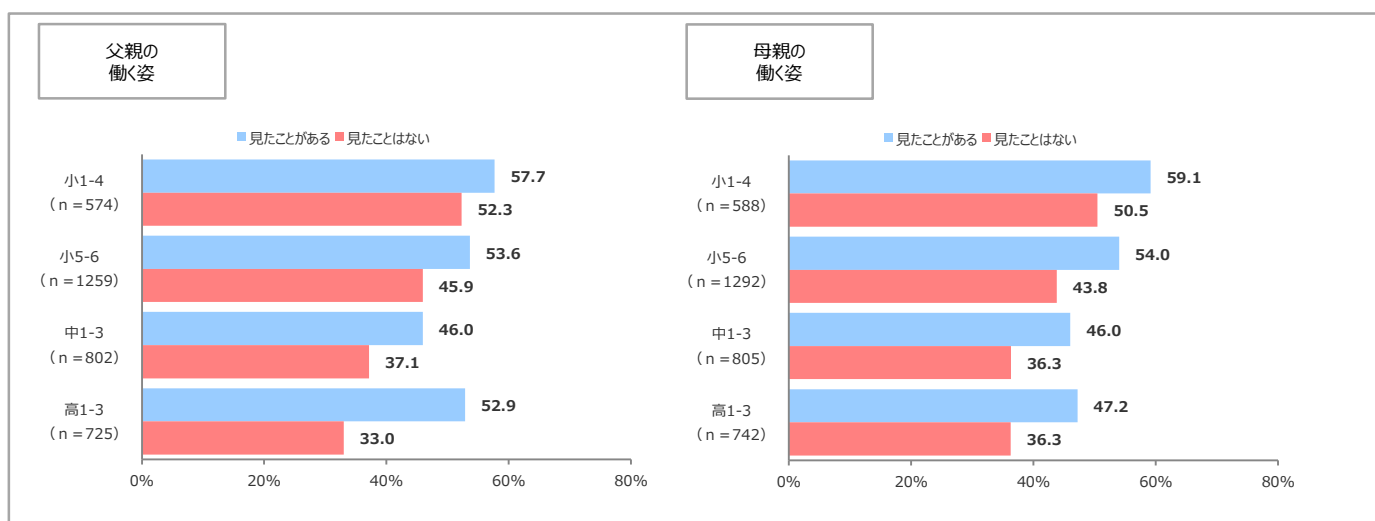
【図14】 将来なりたい職業はあるか



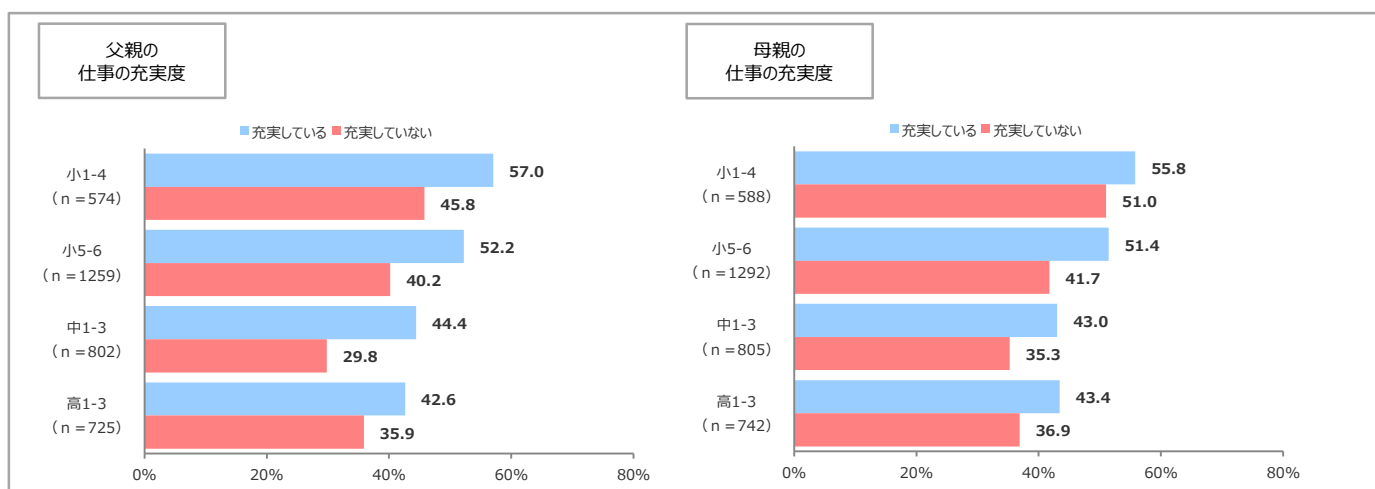
「大人調査：親の働く姿を見たことがあるか」との関係を見ると、父親や母親の働く姿を「見たことがある」子供は、そうでない子供よりも、総じて将来なりたい職業が「ある」と回答した割合が高かった。特に、「高1-3」の子供は、父親および母親の働く姿を「見たことがある」子供と「見たことがない」子供の差が、双方とも10ポイントを超え、他の学年より差が大きくなっていた（図14.2）。

「大人調査：親の仕事の充実度」との関係を見ると、父親や母親の仕事が「充実している」家庭の子供は、そうでない子供よりも、総じて将来なりたい職業が「ある」と回答した割合が高かった。特に、父親の仕事の充実度の方が双方の差が大きい傾向があり、母親の仕事の充実度よりも、子供が将来なりたい職業があるかどうかの影響が強いようだ（図14.3）。

【図14.2】 将来なりたい職業が「ある」割合：親の働く姿を見たことがあるか別



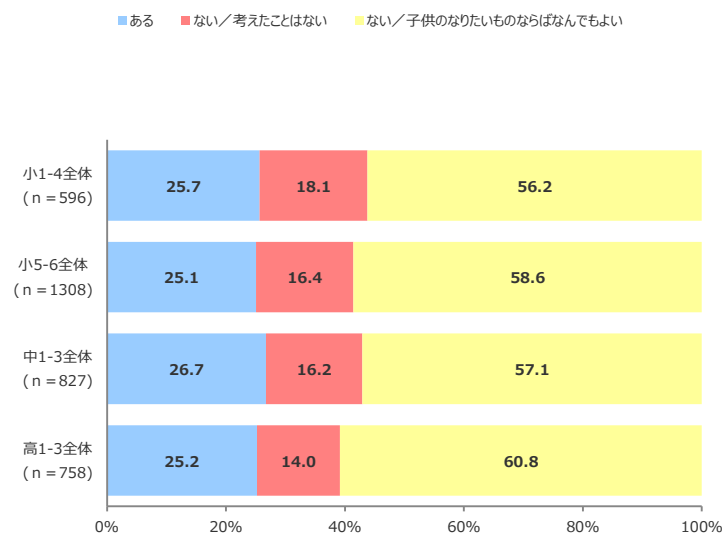
【図14.3】 将来なりたい職業が「ある」割合：親の仕事の充実度別



子供に将来なっしてほしい職業はあるか

小学校1年生から高校3年生の子供がいる男女に、子供に将来なっしてほしい職業があるかを聞いた。「ない/子供のなりたいものならばなんでもよい」と考える親が6割を占めていた。一方、「ある」と回答した親も25~26%と4分の1程度いた（図15）。

【図15】子供に将来なっほしい職業はあるか



将来になりたい職業

子供に将来なってほしい職業

「子供調査：将来の夢はあるか」において、将来になりたい職業が「ある」と回答した小学校1-4年生および小学校5-6年生の子供に、職業リストの中からあてはまるものを選んでもらった。

順位を見ると、小1-4女子、小5-6女子ともに1位「ケーキ屋・パティシエール」、2位「医者」となった。小1-4男子と小5-6男子は4位まで同じで、1位「サッカー選手」、2位「医者」、3位「運転手/車掌」となっている。

一方、「大人調査：子供に将来なってほしい職業はあるか」において、「ある」と回答した小学校1-4年生および小学校5-6年生の子供を持つ者（親）に、職業リストの中からあてはまるものを選んでもらうと、小1-4、小5-6ともに1位「医者」、2位「公務員※消防士・警察官・自衛隊等除く」となった。3位はそれぞれ「看護師」と「薬剤師」となっている。子供の回答と比較すると、「医者」などは上位で共通するものの、子供の夢よりも高収入や安定が見込める職業など、より現実的な職業を親が望んでいることがうかがえる（表16-17.1）。

【表16-17.1】子供が将来になりたい職業/親が子供に将来なってほしい職業（小1-4・小5-6）ランキングTOP10

小1-4 女子			小1-4 男子			小1-4 親		
順位		n 数 156 (%)	順位		n 数 166 (%)	順位		n 数 153 (%)
1	ケーキ屋・パティシエール	18.6	1	サッカー選手	11.4	1	医者	17.6
2	医者	7.1	2	医者	8.4	2	公務員 ※消防士・警察官・自衛隊等除く	8.5
3	美容師・理容師	6.4	3	運転手/車掌 (車、バス、電車、新幹線等)	6.6	3	看護師	7.2
4	看護師	5.8	4	野球選手	6.0	4	サッカー選手	5.2
5	ファッションデザイナー	5.8	5	教師 (小学校、中学校、高等学校)	4.2	5	野球選手	4.6
6	歌手/アイドル/モデル	4.5	6	漫画家・イラストレーター	2.4	6	会社員 (事務系) ※銀行員・金融関連職除く	4.6
7	漫画家・イラストレーター	4.5	7	警察官	2.4	7	薬剤師	3.9
8	教師 (小学校、中学校、高等学校)	4.5	8	学者・研究者	2.4	8	銀行員・金融関連職	3.3
9	保育士・幼稚園教諭	3.8	9	建築士	2.4	9	教師 (小学校、中学校、高等学校)	2.6
10	花屋	3.8	10	その他スポーツ選手	1.8	10	整備士・機械エンジニア	2.6

小5-6 女子			小5-6 男子			小5-6 親		
順位		n 数 283 (%)	順位		n 数 235 (%)	順位		n 数 290 (%)
1	ケーキ屋・パティシエール	14.8	1	サッカー選手	11.9	1	医者	16.9
2	医者	11.0	2	医者	9.4	2	公務員 ※消防士・警察官・自衛隊等除く	10.0
3	看護師	9.2	3	運転手/車掌 (車、バス、電車、新幹線等)	7.7	3	薬剤師	7.2
4	保育士・幼稚園教諭	5.7	4	野球選手	7.7	4	看護師	5.5
5	薬剤師	5.3	5	料理人	4.3	5	教師 (小学校、中学校、高等学校)	4.5
6	教師 (小学校、中学校、高等学校)	3.9	6	ゲームクリエイター	3.8	6	経営者	4.5
7	漫画家・イラストレーター	3.5	7	その他スポーツ選手	3.4	7	学者・研究者	4.1
8	獣医	3.2	8	YouTuber	3.4	8	サッカー選手	3.8
9	ファッションデザイナー	2.8	9	整備士・機械エンジニア	3.4	9	会社員 (事務系) ※銀行員・金融関連職除く	3.8
10	学者・研究者	2.5	10	漫画家・イラストレーター	3.0	10	理学療法士・作業療法士	2.8

「子供調査：将来の夢はあるか」において、将来なりたい職業が「ある」と回答した中学校1-3年生、高校1-3年生に、職業リストの中からあてはまるものを選んでもらった。

順位を見ると、中1-3女子は「看護師」「医者」「保育士・幼稚園教諭」が上位に、高1-3女子は「教師」「保育士・幼稚園教諭」「医者」が上位になり、医療・福祉・教育系の職業が多い。中1-3男子は「サッカー選手」「公務員」「医者」と、小5-6男子と1位は同じだが、現実的な希望も挙がっている。高1-3男子になると、「教師」「整備士・機械エンジニア」「医者」が上位となり、それまでの学年とは異なる、現実的かつ専門的な職業が挙がってきている。

一方、「大人調査：子供に将来なってほしい職業はあるか」において、「ある」と回答した中学校1-3年生及び高校1-3年生の子供を持つ者（親）に、職業リストの中からあてはまるものを選んでもらうと、中1-3、高1-3の親ともに1位「医者」、2位「公務員」となった。3位はそれぞれ「薬剤師」「教師」となっている。小学生と同様、子供の回答と比較すると、より安定した高収入の仕事を望んでいることがわかった（表16-17.2）。

【表16-17.2】子供が将来なりたい職業／親が子供に将来なってほしい職業（中1-3・高1-3）ランキングTOP10

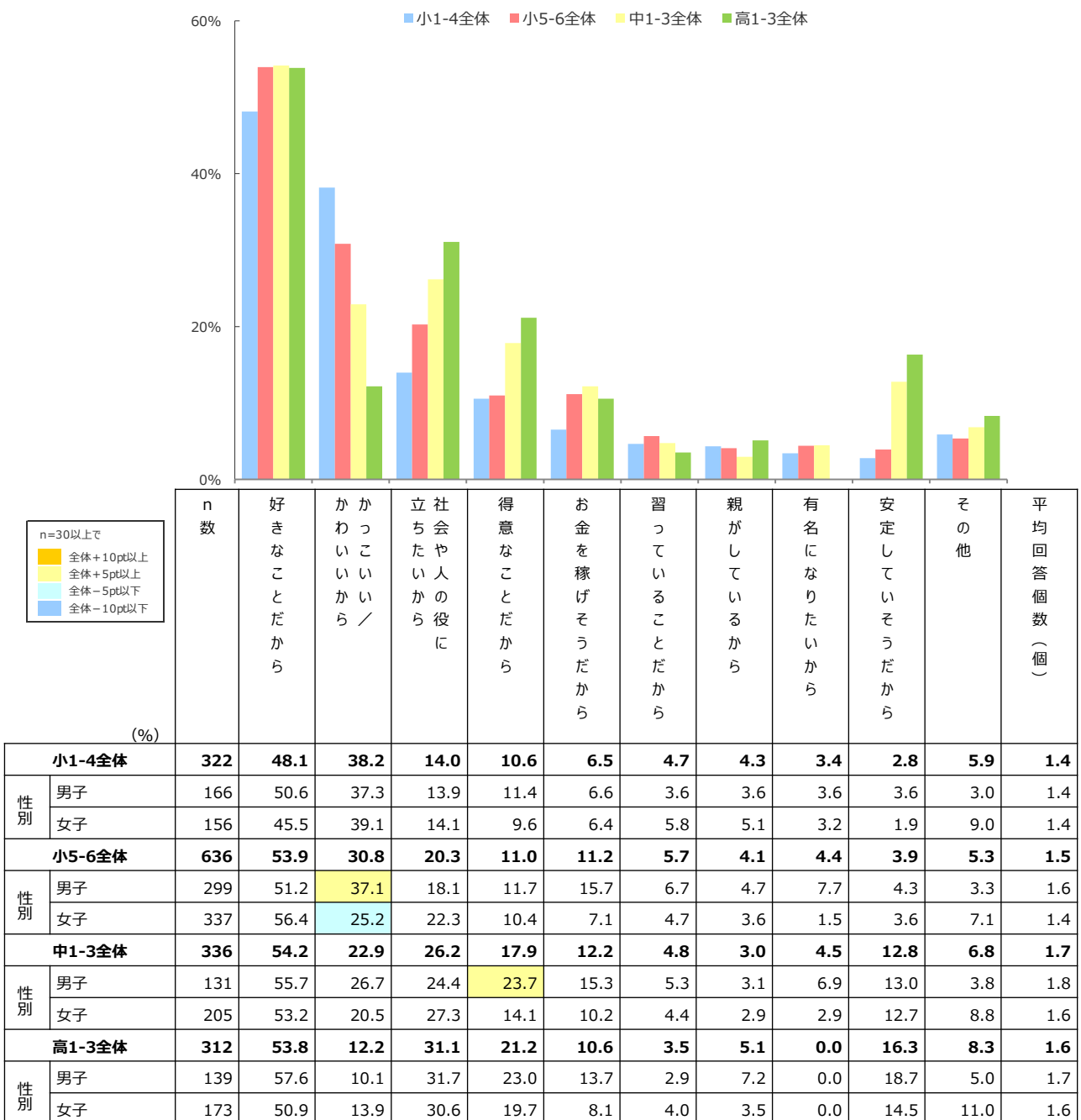
中1-3 女子			中1-3 男子			中1-3 親		
順位		n 数 205 (%)	順位		n 数 131 (%)	順位		n 数 221 (%)
1	看護師	9.3	1	サッカー選手	8.4	1	医者	12.2
2	医者	8.3	2	公務員 ※消防士・警察官・自衛隊等除く	6.1	2	公務員 ※消防士・警察官・自衛隊等除く	10.9
3	保育士・幼稚園教諭	7.3	3	医者	5.3	3	薬剤師	9.0
4	教師（小学校、中学校、高等学校）	6.3	4	教師（小学校、中学校、高等学校）	5.3	4	看護師	5.9
5	薬剤師	5.9	5	学者・研究者	3.8	5	会社員（事務系） ※銀行員・金融関連職除く	3.6
6	漫画家・イラストレーター	4.4	6	運転手／車掌 （車、バス、電車、新幹線等）	3.8	6	弁護士・検事・裁判官	3.2
7	ケーキ屋・パティシエール	3.9	7	野球選手	3.1	7	教師（小学校、中学校、高等学校）	2.7
8	獣医	2.9	8	バスケットボール選手	3.1	8	経営者	2.3
9	声優	2.4	9	システムエンジニア・プログラマー	3.1	9	俳優・女優	1.8
10	弁護士・検事・裁判官	2.0	10	ゲームクリエイター	3.1	10	銀行員・金融関連職	1.8

高1-3 女子			高1-3 男子			高1-3 親		
順位		n 数 173 (%)	順位		n 数 139 (%)	順位		n 数 191 (%)
1	教師（小学校、中学校、高等学校）	9.2	1	教師（小学校、中学校、高等学校）	12.2	1	医者	13.6
2	保育士・幼稚園教諭	8.1	2	整備士・機械エンジニア	6.5	2	公務員 ※消防士・警察官・自衛隊等除く	13.6
3	医者	6.9	3	医者	5.8	3	教師（小学校、中学校、高等学校）	6.8
4	理学療法士・作業療法士	5.2	4	システムエンジニア・プログラマー	5.8	4	薬剤師	5.2
5	看護師	4.6	5	学者・研究者	3.6	5	学者・研究者	3.7
6	薬剤師	4.6	6	公務員 ※消防士・警察官・自衛隊等除く	3.6	6	通訳・翻訳	3.7
7	会社員（事務系） ※銀行員・金融関連職除く	3.5	7	農業・畜産関連	3.6	7	保育士・幼稚園教諭	3.1
8	臨床心理士・カウンセラー等	2.3	8	会社員（事務系） ※銀行員・金融関連職除く	2.9	8	整備士・機械エンジニア	2.1
9	漫画家・イラストレーター	1.7	9	建築士	2.9	9	会社員（事務系） ※銀行員・金融関連職除く	2.1
10	学者・研究者	1.7	10	通訳・翻訳	2.2	10	弁護士・検事・裁判官	2.1

将来その職業になりたい理由

「子供調査：将来の夢はあるか」において、将来になりたい職業が「ある」と回答した小学校1年生から高校3年生の子どもに、なぜその職業に就きたいのか理由を聞いた。どの学年でも、1位は「好きなことだから」で5～6割の回答を集めた。次点は、「小1-4」「小5-6」では「カッコいい／かわいいから」となったが、「中1-3」「高1-3」では「社会や人の役に立ちたいから」となっており、成長するにつれ、自分本位の視点から社会貢献の視点へと変化が表れている。また、「安定していそうだから」は、「小1-4」「小5-6」では「その他」を除いて最下位なのに比べ、「中1-3」「高1-3」は4位または5位に上昇している。回答割合も10ポイント前後高くなっており、より現実的な理由で職業を考えている様子がうかがえる（図18）。

【図18】その職業に将来なりたいたいと思う理由：性別

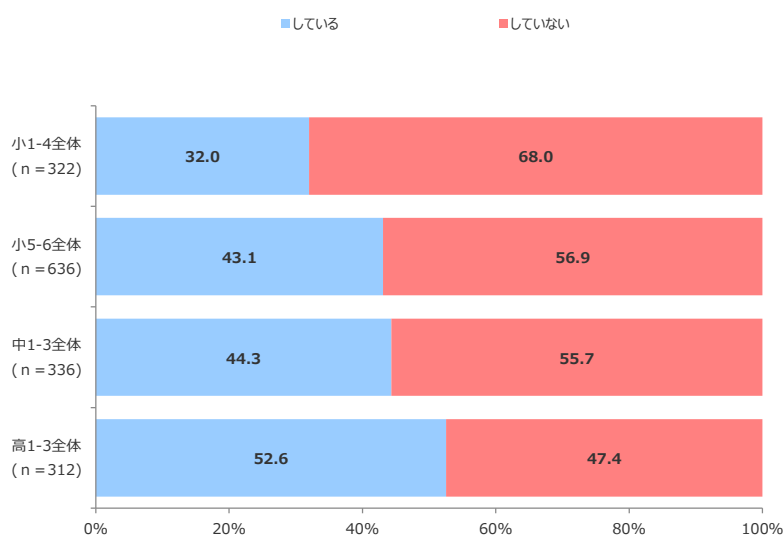


将来なりたい職業に就くための努力

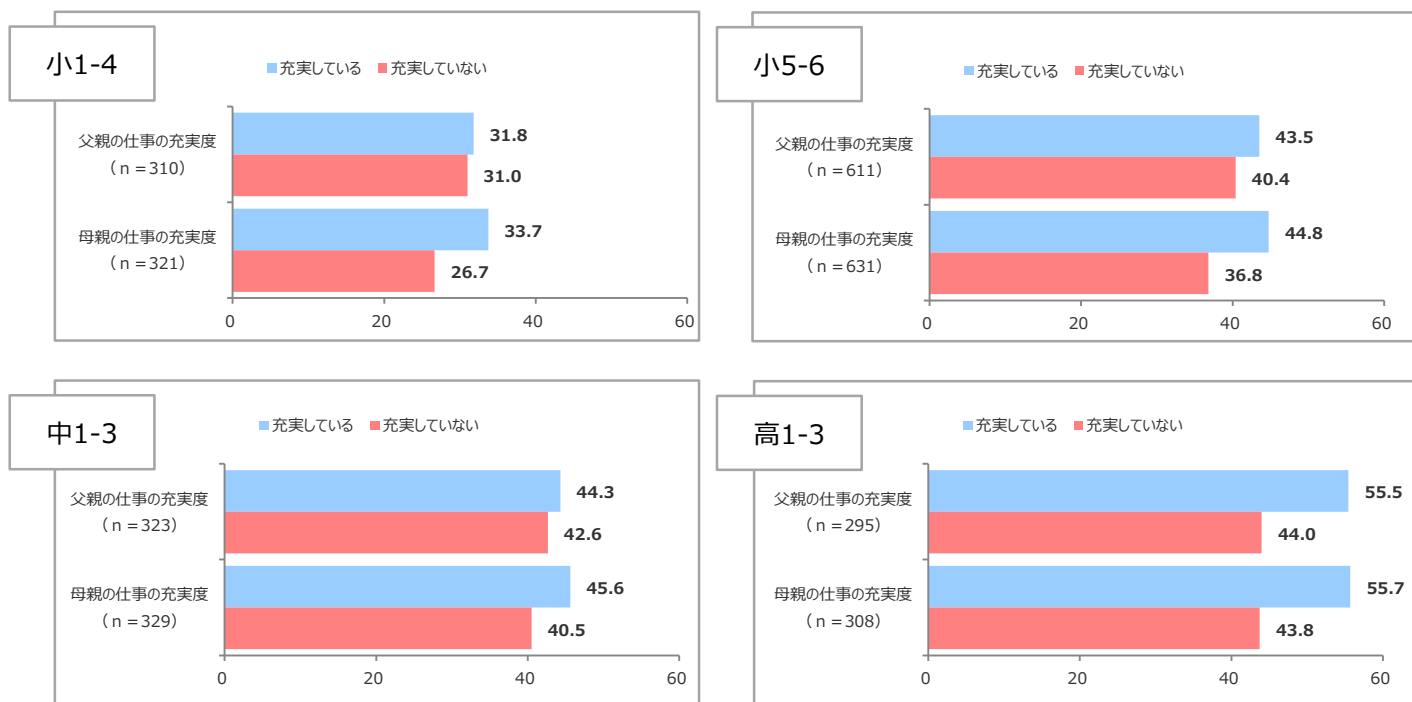
「子供調査：将来の夢はあるか」において、将来なりたい職業が「ある」と回答した小学校1年生から高校3年生の子供に、将来なりたい職業に就くために何か工夫や努力をしているかを聞いた。「している」という回答は、「小1-4」32.0%、「小5-6」43.1%、「中1-3」44.3%、「高1-3」52.6%と、学年が上がるにつれ高くなっていく（図19.1）。

将来なりたい職業に就くために何か工夫や努力を「している」割合について、「大人調査：親の仕事の充実度」との関係を見た。父親および母親の仕事が「充実している」家庭の子供は、「充実していない」家庭の子供に比べて将来なりたい職業に就くために工夫や努力を「している」割合が高くなっていった。特に「高1-3」では、他の学年よりもその差が大きく、より現実的な進路を考えるにあたって親の仕事への姿勢が影響を及ぼしているのかもしれない（図19.2）。

【図19.1】 将来なりたい職業に就くために工夫や努力をしているか



【図19.2】 将来なりたい職業に就くために工夫や努力を「している」割合：親の仕事の充実度別



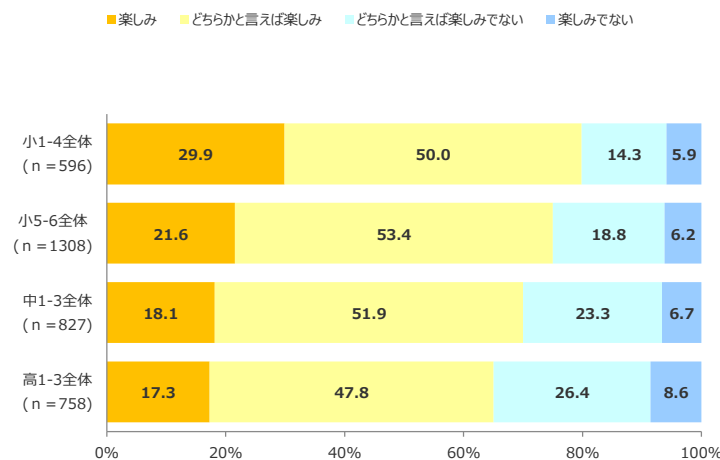
将来働くのは楽しみか

小学校1年生から高校3年生の子供に、将来働くことを楽しみに感じているかを聞いた。「楽しみ・計（「どちらかと言えば楽しみ」も含む、以下同）」は、「小1-4」で79.9%、「小5-6」で75.0%、「中1-3」で70.0%、「高1-3」65.1%となり、幼い子供ほど将来働くことへの期待感も高い（図20.1）。

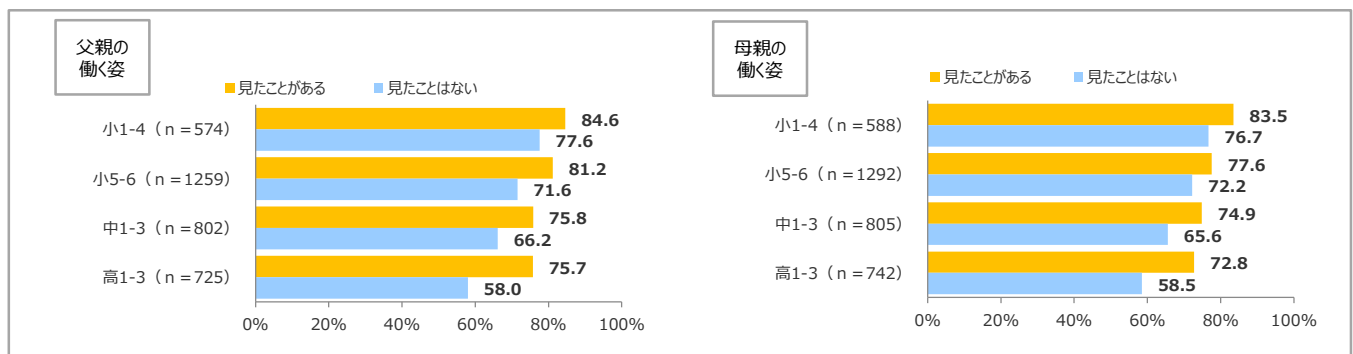
「楽しみ・計」の回答割合について「子供調査：親の働く姿を見たことがあるか」との関係を見た。父親および母親の働く姿を「見たことがある」子供の方が、「見たことはない」子供よりも、回答割合が大幅に高い。特に、「高1-3」は「見たことがある」子供と「見たことはない」子供の差が他の学年よりも大きい（図20.2）。

また、「大人調査：親の仕事の充実度」との関係を見た。父親および母親の仕事が「充実している」家庭の子供の方が、「充実していない」家庭の子供よりも、回答割合が大幅に高い。その差は、学年が上がるにつれて大きくなっており、成長するにつれ働くことを現実的に捉え始めているのか、身近な大人の働く姿が将来への期待につながっているようだ（図20.3）。

【図20.1】 将来働くのは楽しみか



【図20.2】 将来働くのが「楽しみ・計」と回答した割合：親の働く姿を見たことがあるか別



【図20.3】 将来働くのが「楽しみ・計」と回答した割合：親の仕事の充実度別

